

告示の通り、労使協議会の結果、会社より回答を受け、令和4年度冬季一時金は妥結致しました。

#### 労使協議の要点

会社からは15期は25億計画を達成したが、16期、17期と20億に届かない実績で、第10期の実績に逆戻りしており、大変厳しい状況の中、第18期は出直しの期として真価が問われる期が来月には始まること。医療業界の大変革期に中北薬品の合理化、販管費削減を徹底的に進めるため、医療業界や医薬品卸の業務を自発的に勉強し、理解を深め、システム提案をすること。社章に入っている地球儀の意図をしっかりと理解し、グローバルな発想、新しい知恵を生み出し、医療業界の枠を超えたビジネスモデルを早急に考えること。関連会社として販売できるメタル商品を全員が意識を持って普及・販促活動を徹底的に行なうことなど、我々が現状できていないことを厳しく指摘されています。組合として会社から指示されたことを組合員が確実に行動に移すことができるよう全力でサポートしていくことを提案し、200,000円での最終回答がありました。

以上が労使協議の要点です。

一時金に関しては、会社の業績だけでなく中北薬品の業績や皆さんの日々の業務、さらには、新しい発想・提案、記憶に残る取り組みがあったか、など様々な要素が金額に反映されてきます。各部署において毎日業務で忙しいと思いますが、会社からは通常業務だけでは、ただのルーチンワークと言われてしまいます。日々の生活の中でアンテナを高く張って、広い視野と発想力を持って、会社へ新しい提案ができるよう、組合員全員の意識改革が急務です。

今期、決算期が変わり、来月には18期が始まります。出直しの期、真価が問われる期として、計画20億必達の期にしなければいけません。同時に、今後益々厳しさが増す医療業界において中北薬品グループの将来にわたる発展のため、ICソリューションズのシステム提案、合理化提案は最重要課題だと思っています。中北薬品の業務の合理化、販管費削減を今以上に真剣に考え、勉強し、組合員一人ひとりが強い拘りと責任感を持って業務を進めてください。

また、18期は組合員全員が誰ひとり背くことなくメタル商品の普及・販促活動を全力で推進してほしいと思います。関連会社だから関係ない、自分に関係ないという意識は排除していただき会社から顔つきが変わった、行動が変わってきたと評価されるように、覚悟を持った意識改革、行動改革を期待しています。失敗を恐れず、何事も前向きにチャレンジしていきましょう。

組合としましても、組合員一人ひとりの声に耳を傾けて、覚悟と拘りを持って行動していきますので、今後ともご協力よろしくお願い致します。

最後になりますが、日頃の組合諸活動へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

令和4年12月9日

ICSユニオン

執行委員長 佐藤 智彦

公印省略